

## 「声優の底力」

坂口 裕靖

10 都府県の緊急事態宣言は 3/7 まで延長されたものの、首都圏以外では 2 月末時点で早期終了しようという状況ではありませんが、そんなことよりキラメイジャーです。紆余曲折あった 1 年ですが、エピソード 39 からこっち、怒涛のクライマックスを迎えて盛り上がっております。残念ながらこの原稿作成時では最終話まで到達していませんが、おそらくは期待以上の仕上がりになってることでしょう。まあこのあたりは 1 年間じっくり見てきたからこそ、味わえるものではあるのですが、それにしても名作として後世に語り継がれていくであろうことは想像に難くありません。以下ネタバレを含むのでご注意ください。というか、公式サイトに一切載ってるので、ネタバレも何もないわけではあります、為念。

エピソード 41 で、レッドの熱田充瑠（し

かもネコミミつきの猫モード）と敵たるヨドンハイム（ヨドンハイムかと思ってました... まあハイムじゃおうちやさんですな）の邪面師&邪面獣を作り出す幹部、クランチュラが意気投合するという衝撃のプロットになってます。このエピソード、誰がどう考えても、瀬奈お嬢様と小夜姐にネコミミつけてにゃおにゃおさせることが目的としか思えない（だって、戦隊名乗りも「キラメイにゃ〜」だし）わけですが、それはそれとして、クランチュラと充瑠が「創造の苦しみ・楽しさ」という点において、クリエイターとして理解し合うという、殴り合って大笑いする以外のメソッドを持って意気投合を果たしているのは素晴らしいことじゃないでしょうか。しかもクランチュラはヨドンハイムを裏切るわけではなく、あくまで充瑠と意気投合しただけなのです。

この絶妙な立ち位置、おわかり頂けるでしょうか。

エピソード 42 では、あの柿原さんが再登場。エピソードゼロではドス黒い内面世界を描かれ、エピソード 20 では手をつないで逃げ回った柿原さんが、遊園地チケットを渡してくる甘酸っぱいエピソード。まあ、ベチャット化しちゃったけども。しかもここでヨドン皇帝の中身が描かれるという、なんかもうインサイド・ヘッドな状況。ヨドン皇帝は内部人格が複数あり、皇帝としての人格、皇帝直属秘書官たるヨドンナとしての人格、そしてスナイパーたる幹部シャドンとしての人格をもっており、それぞれ対応する邪面があったわけだけど、エピソード 39 でシャドンが倒され、空いた空席にガルザが入ってくるというわけです。その結果、ガルザはヨドン皇帝の能力を使

### One Point BUZZ WORD

## 博士じゃないよ

最近の戦隊シリーズは、何枚も CD を出すのが定番のようです。TV サイズの主題歌ミニアルバムがまず出て、ミニアルバムが 3 枚ぐらい、サウンドトラックが 3 枚ぐらい出て、キャラクターソングアルバムとお話 CD とかをしつつ、最後に全曲集が出るというパターンでしょうか。キラメイジャーもご多分に漏れず、このパターンを踏襲しているようです。

でまあアレクサですよ。そりゃキャラクターがキラキラネームだから読みづらいのはわかりますけど、いくらなんでもそりゃないでしょ、という感じの読み間違いだらけです。例えばレッドの熱田充瑠（あつたじゅーる）は「あつたみちる」、ブルーの押切時雨（おしきりしぐる）は「おしきりしぐれ」（惜しい!）、ピンクの大治小夜は（おおはるさよ）は「おおはるさや」（惜しい!）、

シルバーのクリスタリア宝路（たかみち）は「クリスタリアたからじ」といった具合。一番凄いのがミニアルバム (2) に収録の「博士じゃないよ、博多だよ! しかも南だよ!」。キャラクター名が博多南無鈴（はかたみなみ・むりょう）なのに、アレクサは「はかた・なむすず」と読んでました。まあ仕方ないよね、まず名字と名前の区切りがわからないだろうし、知ってる単語を人名コンテキストで最長マッチさせると博多・南無・鈴になるのも納得できる。でもね、キャラクターソングなんだから、キャラクターの名前ぐらいちゃんと入力して欲しいよなー、というのが正直な感想です。もちろん中のヒトの名前も読み間違えてて、小宮璃央を「こみやあきお」、木原瑠生を「きはらるき」、新條由芽を「しんじょうゆか」、工藤美桜を「くどうみおう」ですよ。失礼千万ですな。アトムにいやんは大丈夫でした。ワンダー守護神を「わんだーしゅごかみ」と読み間違い、博多南無料の歌の名前を「はかせじゃないよ、はかただよ、し、かもみなみだよ」と区切って読むのは、どういうアルゴリズムなのか謎ですわ。

うことができるようになり、ロードガルザとして暴れまわり、実の兄たるオラディン王を捉え、処刑するためにヨドンヘイムに連れ去るのでした。

エピソード 43 ではクランチュラの手助け（手助けなんだけど、ヨドンヘイムを完全に裏切ったわけではなく、あくまで充瑠の求めに応じるだけというのがイイ）で宝路以外の5人がヨドンヘイムへ。充瑠の身を気遣う魔進ファイア。キラメイストーン化したオラディン王をもとの姿に戻した上で怪獣に食わそうとするロードガルザと対峙するんだけど、これも一応必殺技の応酬はするんだけど、どちらかというデモンストレーション的な意味合いであって、それよりも一緒に絵を描きたいと訴えて改心を促す充瑠。カーク船長ばりの交渉です。まあ、カーク船長の場合は交渉して安全を確保した後、毎回必ず裏切るんですが。でもまあガルザが改心して、オラディン王を倒したことを後悔してるところ、カナエマストーンで元通りにできると言った途端、ガルザを追い出して蘇るヨドン皇帝。カナエマストーン、ここで俄然生きてきましたよ!! はじき出されたガルザはヨドン皇帝によって処刑される。崩れ落ち、大爆発するガルザ。爆風にふっとばされた充瑠は崖の裂け目に落ちていき、柿原さんのチケットだけが残される...

で、エピソード 44。CARAT の基地に戻った4人が、博多南に充瑠がヨドンヘイムの崖に落ちたことを伝えると、信じられないと叫ぶ魔進ファイア。ベチャット化してうごめきまわる柿原さんもすっかりインサート。3つのカナエマストーンで巨大化したヨドン皇帝をヨドンナ化して石板に封印。しかしヨドン皇帝は封印されたヨドンナを内部で処刑して回避、即座に復活!

ギガントドリラー、キラメイジンが戦うも歯が立たず、ヨドン皇帝がいよいよ地球をヨドンヘイム化しようとしたその時、スモークジョーキーが出現して大打撃! ガルザは皇帝に処刑される直前、自分の命をスモークジョーキーに飛ばし、崖に落ちた充瑠を助けたのだった。ジョーキーを充瑠に託し、復活したら兄と仲良くしたいと語って消えていくガルザ。最後のカナエマストーンはクランチュラが盗んでいたのをジョーキーで回収、地球に戻った充瑠、5人と魔進たちとの再開。ダメージから復活したヨドン皇帝との最後の戦いに臨むためキラメイチェンジする6人。その背後にそっと佇むクランチュラ。次回最終回! というところでまだ最終回は見れてないのですが、盛り上がりまくってる感じが少しでも伝われば幸いです。

このエピソード 44、特筆すべきは番組冒頭から 13 分 15 秒ぐらいのシャベローのセリフから始まり、CM パートまでの部分。魔進たちとマブシーナが会話を交わす場面なのですが、全員クリスタリアの方々なので、表情が変わらないのです。能面のようなマブシーナと、言ってみれば震えて光るティッシュケースみたいなキラメイストーンモードの魔進たち。だけど、その声の演技、特に魔進ファイアの熱いセリフが胸に響き、ウルっときてしまいました。これこそまさに声優の持つ底力じゃないでしょうか。でなきゃ、震えて光る赤いティッシュケースで感動なぞできるものでしょうか?

まあこちらは 1 年間観てきたので、魔進ファイアの行動原理や情感を理解した上でセリフが入ってくるというのはあるわけですが、その意味では「キラトーク!」が良いリハーサルになっていたのかもしれない

せん。ハンディサイズのキラメイストーンも、どうみても充瑠や小夜姐が手で動かしてるんですが、それはそれとして、キラメイストーンのセリフとして無理なく聞ける（手で動かしてるところが気になりすぎてセリフが入ってこない、といったことがない）のは素晴らしいことだと思います。スーツアクターの場合は手足や指先などで表情をつけられるのに対し、震えて光るティッシュケースはそこまでの情感込められません。なのにキャラクターの存在を感じられるこの不思議。下手に蝶番や関節などで見るからに傀儡的な動きをするキャラクターに比べて、道具感・人形感が少ないのが有利に働いているような気がします。

さて、延期されてた映画「ビーバップドリーム」が公開になったわけですが、さっそく観てきました。筆者的には赤羽の方こと、壇蜜さんのミンジョとキラメイジャーが夢の世界で対決するわけですが、エピソード 21 でちょっと出てきたキャラクターが映画で活躍してるのも広がりがあるいいですね。ムビチケの前売りで赤いシャベローがおまけで付いてくるものがあるのですが、見ると理由がわかります。赤羽の方も崖の上で高笑いされてらっしゃいました。映画は三本立てで、他にリュウソウジャーとゼンカイジャーなのですが、ゼンカイジャーにはレッドが勢揃いでなかなか圧巻。初代レッドたるアカレンジャーがゼンカイジャーにかける言葉がなんとも。ところで各戦隊は並行宇宙に存在してるのでしょうか。てっきり日本の風物詩だとばかり思ってたのに、宇宙規模だったとは...

Hiroyasu Sakaguchi  
株式会社 IMAGICA Lab.